

一般医療機器

機械器具(58) 整形用機械器具
 整形外科用バー JMDNコード：36249001

テクニカ外科用ドリル

【禁忌・禁止】

＜使用方法＞

- (1) ハンドピースまたは専用器具への取り付けは、本品を確実に挿入し、固定されていることを確認すること。[器具の破損や脱落につながるおそれがある。]
- (2) 本品の加工・改造は行わないこと。[器具の破損や不適切な設置による術後成績不良が発生するおそれがある。]
- (3) 変形や破損した場合は使用しないこと。[器具の破損や不適切な設置による術後成績不良が発生するおそれがある。]

【形状・構造及び原理等】

フィッシャーバー



形式
1
2
3

リンデマンカッター



【使用目的又は効果】

〔使用目的〕

穿孔の起始点、穿孔方向の決定及び骨頂の整形を行う際に使用する。

【使用方法等】

〔使用方法〕

ハンドピースまたは専用器具に装着し、穿孔の起始点、穿孔方向の決定や骨頂の整形等に使用する。外部より十分に生理食塩水をかけて、ドリルを冷却しながら、使用する。

【使用上の注意】

〔使用注意〕

製品の仕様は改良のためお断りなく変更することがありますのでご了承ください。

〔使用方法に関連する使用上の注意〕

- (1) 購入時は未滅菌のため、使用前に必ず洗浄・滅菌を行ない、次回からの使用時にも同様に行なうこと。
オートクレーブ可 121℃で20分間
- (2) 使用するまで常に滅菌後の汚染に注意し、手指や未滅菌の器具などで直接触れないこと。
- (3) ハンドピースまたは専用器具の取扱説明書に従い、本品を確実に装着すること。
- (4) 本品は使用前にハンドピースまたは専用器具に装着し、患者の口腔外にて回転させ、注水量、芯ブレなどに支障のないことを確認すること。使用に適さない場合には、新しいものと交換すること。
- (5) 本品を使用する前に必ずバーのサイズを確認すること。誤ったサイズでのご使用は医療事故につながる危険性があります。

- (6) 本品は使用の際、発熱、外科的損傷など組織への侵襲を最小限にするため、十分な生理食塩水の注水下で適正回転数にて使用すること。
- (7) 長時間、生理食塩水に漬けて置くと、錆や変色のおそれがある。
- (8) 本品を使用中に切削性が低下したり、汚染したおそれのある場合には、すぐに使用を中止し新しいものと交換すること。
- (9) 本品は刃物ですので使用には十分注意すること。

【保管方法及び有効期間等】

〔保管方法〕

- (1) 錆びる恐れがあるため水分・血液などが付着したまま保管しないこと。
- (2) 本品はステンレス製ですが、湿度の高い場所に長時間放置すると錆びて器具に装着出来なくなる恐れがあるため、湿度が低く、清潔な場所に保管すること。

【製造販売業者及び製造業者の氏名又は名称等】

1. 製造販売業者

株式会社デンテック

〒174-0053 東京都板橋区清水町5-3-5

TEL：03-3964-2011

FAX：03-3962-5624

2. 販売業者

有限会社テクニカ

〒174-0053 東京都板橋区清水町5-3-5

TEL：03-5375-0605 FAX：03-3962-5624